



Cisco IP Phone のネットワーク設定値の設定

Cisco IP Phone にはネットワークやデバイスの設定が数多くあるため、ユーザが電話機の利用を開始する前に、システム管理者がその設定作業を終えておく必要があります。これらの設定を表示および変更するには、電話機の [ネットワークノセッテイ] メニューを使用します。

この章は、次の項で構成されています。

- [ネットワークノセッテイ メニューの表示 \(P.4-2\)](#)
- [ネットワークノセッテイ メニューの設定を編集する場合のガイドライン \(P.4-4\)](#)
- [ネットワークの設定オプションの概要 \(P.4-5\)](#)
- [ネットワークノセッテイ メニューのオプション \(P.4-7\)](#)

ネットワークノセッテイ メニューの表示

[ネットワークノセッテイ] メニューを表示するには、次の手順を実行します。



(注)

[ネットワークノセッテイ] メニューにアクセスできない場合は、Cisco CallManager Administration の Phone Configuration ページにある Settings Access フィールドを調べてください。このフィールドに設定できる値は、次のとおりです。

- **Enabled** : [セッテイ] メニューへのアクセスを許可します。
- **Disabled** : [セッテイ] メニューへのアクセスを禁止します。また、受話器、スピーカ、およびヘッドセットの各設定の保存も禁止します（ただし、これらの設定は一時的に変更することはできます）。
- **Restricted** : [コントラスト] と [ヨビダシオンタイプ] を除き、[セッテイ] メニューのすべてのオプションへのアクセスを禁止します。音量の設定変更の保存は許可します。

詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

手順

ステップ 1 設定ボタンを押して、[セッテイ] メニューにアクセスします。

ステップ 2 [ネットワークノセッテイ] までスクロールし、[センタク] ソフトキーを押します。

[ネットワークノセッテイ] メニューを終了するには、[シュウリョウ] ソフトキーを押します。

関連項目

- [設定オプションのロックとロック解除 \(P.1-23\)](#)
- [ネットワークノセッテイメニューの設定を編集する場合のガイドライン \(P.4-4\)](#)
- [ネットワークの設定オプションの概要 \(P.4-5\)](#)
- [ネットワークノセッテイメニューのオプション \(P.4-7\)](#)

ネットワークノセッテイメニューの設定を編集する場合のガイドライン

[ネットワークノセッテイ]メニューのオプションの設定値を編集するときは、次のガイドラインに従ってください。

- 数字や文字を入力するには、電話機のキーパッドのキーを使用する。
- キーパッドを使用して文字を入力するには、対応する番号キーを使用する。番号キーを1回または複数回押すと、特定の文字が表示されます。たとえば、「a」を入力するには、番号キーの2を1回押します。「b」を入力するには2回、「c」を入力するには3回すばやく押します。少し間を置くと、カーソルが次の文字を入力する位置に自動的に移動します。
- (たとえばIPアドレスなどで)ピリオドを入力するには、[.] (ピリオド) ソフトキーを押す。
- 入力内容を修正する場合は、[<<] ソフトキーを押して、カーソルの左側の文字を削除する。
- 変更内容を保存しない場合は、[カクニン] ソフトキーや [ホゾン] ソフトキーを押す前に、[キャンセル] ソフトキーを押す。



(注)

Cisco IP Phone では、必要に応じて、オプション設定のリセットや復元に使用できる方法がいくつか用意されています。詳細については、[P.8-20 の「Cisco IP Phone のリセットまたは復元」](#)を参照してください。

関連項目

- [ネットワークノセッテイメニューの表示 \(P.4-2\)](#)
- [設定オプションのロックとロック解除 \(P.1-23\)](#)
- [ネットワークの設定オプションの概要 \(P.4-5\)](#)
- [ネットワークノセッテイメニューのオプション \(P.4-7\)](#)

ネットワークの設定オプションの概要

電話の [ネットワークノセッテイ] メニューで変更できる設定は、表 4-1 で示すとおり、いくつかのカテゴリに分かれています。各設定の詳細な説明や変更方法については、P.4-7 の「ネットワークノセッテイ メニューのオプション」を参照してください。



(注) [ネットワークノセッテイ] メニューには、表示専用のオプションもあれば、Cisco CallManager を使用して設定できるオプションもあります。これらのオプションについても、P.4-7 の「ネットワークノセッテイ メニューのオプション」を参照してください。

表 4-1 ネットワークの設定オプションのカテゴリ

カテゴリ	説明	[ネットワークノセッテイ] メニューのオプション
DHCP 設定	DHCP (ダイナミック ホスト コンフィギュレーションプロトコル) を使用している場合、ネットワークにデバイスを接続すると、デバイスの IP アドレスが自動的に割り当てられます。Cisco IP Phone では、DHCP がデフォルトで有効になっています。	DHCP ヲツカウ
		DHCP アドレスヲカイホウスル
IP 設定	ネットワークで DHCP を使用しない場合は、IP 設定を手動で行います。	IP アドレス
		デフォルトルータ 1 ~ 5
		サブネットマスク
		ドメインメイ
ポート設定	ネットワーク ポートやアクセス ポートの速度と全二重 / 半二重の設定を変更できます。	SW ポートセッテイ
		PC ポートセッテイ

表 4-1 ネットワークの設定オプションのカテゴリ (続き)

カテゴリ	説明	[ネットワークノセッテイ] メニューのオプション
TFTP 設定	電話機から TFTP サーバへの送信に DHCP を使用しない場合は、TFTP サーバを手動で割り当てる必要があります。また、DHCP で割り当てられたものを使用しないで、代替 TFTP サーバを割り当てることもできます。	TFTP サーバ 1
		ダイタイ TFTP サーバ
		TFTP サーバ 2
VLAN 設定	電話機で使用される管理 VLAN を変更できます。	Admin. VLAN ID

関連項目

- [ネットワークノセッテイ メニューの表示 \(P.4-2\)](#)
- [設定オプションのロックとロック解除 \(P.1-23\)](#)
- [ネットワークノセッテイ メニューの設定を編集する場合のガイドライン \(P.4-4\)](#)
- [ネットワークノセッテイ メニューのオプション \(P.4-7\)](#)

ネットワークノセッテイ メニューのオプション

[ネットワークノセッテイ] メニューには、さまざまなネットワーク設定値を表示および変更するためのオプションが含まれています。表 4-2 では、これらのオプションとその変更方法（可能な場合）について説明しています。

[ネットワークノセッテイ] メニューの表示方法については、P.4-2 の「ネットワークノセッテイ メニューの表示」を参照してください。

このメニューのオプションを変更する前に、オプションのロックを解除しておく必要があります。詳細については、P.1-23 の「設定オプションのロックとロック解除」を参照してください。オプションのロックが解除されている場合に限り、ネットワークの設定オプションを変更するための [ヘンシュウ]、[Yes]、または [No] というソフトキーが Cisco IP Phone 7960G/7940G モデルに表示されます。

オプションの編集に使用できるキーについては、P.4-4 の「ネットワークノセッテイ メニューの設定を編集する場合のガイドライン」を参照してください。

表 4-2 [ネットワークノセッテイ] メニューのオプション

オプション	説明	変更方法
DHCP サーバ	電話機の IP アドレスの取得に使用される DHCP (ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル) サーバの IP アドレスを表示します。	表示専用 (設定不可)
BOOTP サーバ	電話機の設定が DHCP サーバからではなく BootP (ブートストラップ プロトコル) サーバから取得されたかどうかを表示します。	表示専用 (設定不可)
MAC アドレス	電話機の固有な MAC (メディア アクセス制御) アドレスを表示します。	表示専用 (設定不可)
ホストメイ	電話機に割り当てられた DHCP サーバの固有なホスト名を表示します。	表示専用 (設定不可)

■ ネットワークノセッテイ メニューのオプション

表 4-2 [ネットワークノセッテイ] メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更方法
ドメインメイ	電話機が存在する DNS (ドメイン ネーム システム) の名前を表示します。Alternate Domain オプションが Yes に設定されている場合は、この値を上書きできます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. [DHCP ヲツカウ] オプションを No に設定します。 2. [ドメインメイ] オプションまでスクロールし、[ヘンシュウ] ソフトキーを押して、新しいドメイン名を入力します。 3. [カクニン] ソフトキーを押して、[ホゾン] ソフトキーを押します。
IP アドレス	電話機の IP (インターネット プロトコル) アドレスを表示します。 このオプションを使用して IP アドレスを割り当てる場合は、サブネットマスクとデフォルト ルータも割り当てる必要があります。表中の [サブネットマスク] オプションと [デフォルトルータ] オプションを参照してください。	<ol style="list-style-type: none"> 1. [DHCP ヲツカウ] オプションを No に設定します。 2. [IP アドレス] オプションまでスクロールし、[ヘンシュウ] ソフトキーを押して、新しい IP アドレスを入力します。 3. [カクニン] ソフトキーを押して、[ホゾン] ソフトキーを押します。
サブネットマスク	電話機で使用されるサブネット マスクを表示します。	<ol style="list-style-type: none"> 1. [DHCP ヲツカウ] オプションを No に設定します。 2. [サブネットマスク] オプションまでスクロールし、[ヘンシュウ] ソフトキーを押して、新しいサブネット マスクを入力します。 3. [カクニン] ソフトキーを押して、[ホゾン] ソフトキーを押します。

表 4-2 [ネットワークノセッテイ] メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更方法
TFTP サーバ 1	<p>電話機で使用されるプライマリ TFTP (トリビアルファイル転送プロトコル) サーバを表示します。デフォルトのサーバは CiscoCM1 です。ネットワークで DHCP を使用していない場合、このデフォルトサーバを変更するには、[TFTP サーバ 1] オプションを使用する必要があります。</p> <p>[ダイタイ TFTP] オプションを Yes に設定した場合、[TFTP サーバ 1] オプションには 0 以外の値を入力する必要があります。</p> <p>プライマリ TFTP サーバが CTL ファイルに記述されていない場合は、[TFTP サーバ 1] オプションの変更内容を保存する前に、CTL ファイルをロック解除する必要があります。この場合、ユーザが [TFTP サーバ 1] オプションの変更内容を保存するときに、電話機は CTL ファイルを削除します。</p> <p>CTL ファイルについては、『Cisco CallManager セキュリティガイド』を参照してください。CTL ファイルのロック解除については、P.6-16 の「セキュリティセッテイメニュー」を参照してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="834 293 1239 358">1. [ダイタイ TFTP] オプションを Yes に設定します。 <li data-bbox="834 367 1239 529">2. [TFTP サーバ 1] オプションまでスクロールし、[ヘンシュウ] ソフトキーを押して、新しい TFTP サーバの IP アドレスを入力します。 <li data-bbox="834 537 1239 634">3. [カクニン] ソフトキーを押して、[ホゾン] ソフトキーを押します。

■ ネットワークノセッテイ メニューのオプション

表 4-2 [ネットワークノセッテイ] メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更方法
デフォルトルータ 1 デフォルトルータ 2 デフォルトルータ 3 デフォルトルータ 4 デフォルトルータ 5	電話機で使用されるデフォルト ルータ ([デフォルトルータ 1]) およびオプションのバックアップ ルータ ([デフォルトルータ 2] ~ [デフォルトルータ 5]) を表示します。	<ol style="list-style-type: none"> 1. [DHCP ヲツカウ] オプションを No に設定します。 2. 目的の [デフォルトルータ] オプションまでスクロールし、[ヘンシュウ] ソフトキーを押して、新しいルータの IP アドレスを入力します。 3. [カクニン] ソフトキーを押します。 4. 必要に応じてステップ 3 ~ 4 を繰り返し、バックアップルータを割り当てます。 5. [ホゾン] ソフトキーを押します。
DNS サーバ 1 DNS サーバ 2 DNS サーバ 3 DNS サーバ 4 DNS サーバ 5	電話機で使用されるプライマリ DNS (ドメイン ネーム システム) サーバ ([DNS サーバ 1]) およびオプションのバックアップ DNS サーバ ([DNS サーバ 2] ~ [DNS サーバ 5]) を表示します。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目的の [DNS サーバ] オプションまでスクロールし、[ヘンシュウ] ソフトキーを押して、新しい DNS サーバの IP アドレスを入力します。 2. [カクニン] ソフトキーを押します。 3. 必要に応じてステップ 3 ~ 4 を繰り返し、バックアップ DNS サーバを割り当てます。 4. [ホゾン] ソフトキーを押します。

表 4-2 [ネットワークノセッテイ] メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更方法
Operational VLAN ID	<p>Cisco Catalyst スイッチ上で設定され、電話機がメンバとして含まれる補助 VLAN (バーチャル LAN) を表示します。</p> <p>電話機で補助 VLAN が受信されていない場合、このオプションには管理 VLAN が設定されます。</p> <p>補助 VLAN も管理 VLAN も設定されていない場合、このオプションはブランクです。</p>	<p>電話機の Operational VLAN ID は、接続先のスイッチからシスコ検出プロトコル (CDP) を介して取得されます。VLAN ID を手動で割り当てるには、Admin. VLAN ID オプションを使用します。</p>
Admin. VLAN ID	<p>電話機がメンバとして含まれる補助 VLAN を表示します。</p> <p>電話機が補助 VLAN をスイッチから受信しない場合にのみ使用されます。スイッチから取得している場合、このオプションは無視されます。</p> <p>このオプションの値は、Operation VLAN ID オプションで指定した値に上書きされます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> Admin. VLAN ID オプションまでスクロールし、[ヘンシュウ] ソフトキーを押して、新しい管理 VLAN 設定を入力します。 [カクニン] ソフトキーを押して、[ホゾン] ソフトキーを押します。
CallManager 1 CallManager 2 CallManager 3 CallManager 4 CallManager 5	<p>この電話機からのコール処理に使用できる Cisco CallManager サーバを、優先度の高い順に表示します。</p> <p>詳細については、P.4-18 の「Cisco CallManager オプション」を参照してください。</p>	<p>SRST ルータ アドレスは、Cisco CallManager Administration SRST Reference Configuration ページ (System > SRST の順に選択) で設定します。SRST リファレンスは、Device Pool Configuration ページ (System > Device Pool の順に選択) で設定します。</p>
ジョウホウ URL	<p>電話機に表示されるヘルプ テキストの URL を表示します。</p>	<p>変更するには、Cisco CallManager を使用します。</p>
ディレクトリ URL	<p>電話機でディレクトリ情報の取得元となるサーバの URL を表示します。</p>	<p>変更するには、Cisco CallManager を使用します。</p>

■ ネットワークノセッテイ メニューのオプション

表 4-2 [ネットワークノセッテイ] メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更方法
メッセージ URL	電話機でメッセージ サービスの取得元となるサーバの URL を表示します。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
サービス URL	電話機で Cisco IP Phone サービスの取得元となるサーバの URL を表示します。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
DHCP ラツカウ	電話機で DHCP が使用されているかどうかを表示します。	<ol style="list-style-type: none"> [DHCP ラツカウ] オプションまでスクロールします。DHCP を無効にするには [No] ソフトキーを押し、DHCP を有効にするには [Yes] ソフトキーを押しします。 [ホゾン] ソフトキーを押しします。
DHCP アドレスヲカイホウスル	DHCP で割り当てられた IP アドレスを解放します。	<ol style="list-style-type: none"> [DHCP アドレスヲカイホウスル] オプションまでスクロールします。DHCP で割り当てられた IP アドレスを解放するには [Yes] ソフトキーを押し、この IP アドレスを解放しない場合は [No] ソフトキーを押しします。 [ホゾン] ソフトキーを押しします。
ダイタイ TFTP	電話機で代替 TFTP サーバを使用しているかどうかを表示します。このオプションを Yes に設定した場合、[TFTP サーバ 1] の値を入力する必要があります。	<ol style="list-style-type: none"> [ダイタイ TFTP] オプションまでスクロールします。電話機で代替 TFTP サーバを使用する場合は [Yes] ソフトキーを押しします。使用しない場合は [No] ソフトキーを押しします。 [ホゾン] ソフトキーを押しします。

表 4-2 [ネットワークノセッテイ]メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更方法
セッテイノサクジョ	[ネットワークノセッテイ]メニューの設定 (パスワードを含む)、[デバイスセッテイ]メニューの設定、音量の設定、およびコントラストの設定をデフォルト値に変更します。	<ol style="list-style-type: none"> [セッテイノサクジョ] オプションまでスクロールし、[Yes] ソフトキーを押します。 [ホゾン] ソフトキーを押します。
テンソウノチエン	<p>電話機がアクティブになったときに、内蔵スイッチが PC ポートと電話機のスイッチポートとの間でパケットの転送を開始するかどうかを表示します。</p> <p>このオプションが No に設定されていると、内蔵スイッチはパケットの転送をすぐに開始します。このオプションが Yes に設定されていると、内蔵スイッチは 8 秒間待ってから、PC ポートと SW ポートの間でパケットを転送します。</p> <p>冗長アップリンク用に両方のポートを一緒にスイッチに接続する場合、またはダイジーチェーン接続の電話機を一緒に接続する場合は、このオプションを Yes に設定します。</p>	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
アイドル URL	[URL ノアイドルジカン] オプションで指定した時間内に電話機の使用がなかった場合に現れる URL を表示します。たとえば、[アイドルURL]オプションと[URL ノアイドルジカン] オプションを使用して、電話機が 5 分間使用されなかった場合に、LCD スクリーンにログを表示することができます。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
URL ノアイドルジカン	[アイドル URL] オプションで指定した URL が有効になるまでに経過した時間を秒単位で表示します。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。

■ ネットワークノセッテイ メニューのオプション

表 4-2 [ネットワークノセッテイ] メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更方法
ニンショウ URL	電話機の Web サーバに対して行った要求を確認するために、電話機で使用される URL を表示します。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
プロキシサーバノ URL	ローカルでないホストアドレスに電話機の HTTP クライアントからアクセスするため、プロキシ HTTP 要求に使用される URL を表示します。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
PC ポートラムコウニスル	電話機の PC ポートを有効にする (No) か無効にする (Yes) かを表示します。 電話機のビデオ サポートを使用する場合は、Yes に設定する必要があります。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
SW ポートセッテイ	スイッチ ポートの速度と全二重 / 半二重の設定を表示します。 電話機がスイッチに接続されている場合、スイッチのポートは電話機と同じ速度および全二重 / 半二重の設定にする必要があります。またはいずれも自動ネゴシエーションに設定します。 このオプションの設定を変更する場合、[PC ポートセッテイ] オプションも同じ設定に変更する必要があります。	<ol style="list-style-type: none"> [SW ポートセッテイ] オプションまでスクロールし、[ヘンシュウ] ソフトキーを押します。 次のいずれかの値を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> A (自動ネゴシエーション) 10H (10-BaseT/ 半二重) 10F (10-BaseT/ 全二重) 100H (100-BaseT/ 半二重) 100F (100-BaseT/ 全二重) [ホゾン] ソフトキーを押します。

表 4-2 [ネットワークノセッテイ] メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更方法
PC ポートセッテイ	<p>PC ポートの速度と全二重/半二重の設定を表示します。有効な値は右記のとおりです。</p> <p>電話機がスイッチに接続されている場合、スイッチのポートは電話機と同じ速度および全二重/半二重の設定にする必要があります。またはいずれも自動ネゴシエーションに設定します。</p> <p>このオプションの設定を変更する場合、[SW ポートセッテイ] オプションも同じ設定に変更する必要があります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> [PC ポートセッテイ] の オプションまでスクロールし、[ヘンシュウ] ソフトキーを押します。 次のいずれかの値を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> A (自動ネゴシエーション) 10H (10-BaseT/ 半二重) 10F (10-BaseT/ 全二重) 100H (100-BaseT/ 半二重) 100F (100-BaseT/ 全二重) [ホゾン] ソフトキーを押します。
TFTP サーバ 2	<p>プライマリ TFTP サーバが使用できないときに電話機で使用されるオプションのバックアップ TFTP サーバを表示します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> [ダイタイ TFTP] オプションを Yes に設定します。 [TFTP サーバ 2] オプションまでスクロールし、[ヘンシュウ] ソフトキーを押して、新しいバックアップ TFTP サーバの IP アドレスを入力します。 [カクニン] ソフトキーを押して、[ホゾン] ソフトキーを押します。
ユーザロケール	<p>電話機のユーザに関連付けられたユーザロケールを表示します。ユーザロケールは、言語、フォント、日時の表示形式、英数字のキーボードテキスト情報など、ユーザをサポートするための一連の詳細情報を識別します。</p>	<p>変更するには、Cisco CallManager を使用します。</p>

■ ネットワークノセッテイ メニューのオプション

表 4-2 [ネットワークノセッテイ] メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更方法
ネットワークロケール	電話機のユーザに関連付けられたネットワーク ロケールを表示します。ネットワーク ロケールは、電話機で使用されるトーンや断続周期の定義など、特定の場所にある電話機をサポートするための一連の詳細情報を識別します。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
ハンドセットセンヨウモード	ヘッドセットとスピーカが有効 (No) か無効 (Yes) かを表示します。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
ユーザロケールノバージョン	電話機にロードされたユーザ ロケールのバージョンを表示します。	表示専用 (設定不可)
ネットワークロケールノバージョン	電話機にロードされたネットワーク ロケールのバージョンを表示します。	表示専用 (設定不可)
GARP Enabled	電話機が Gratuitous ARP から MAC アドレスを学習するかどうかを表示します。電話機が Gratuitous ARP を受信する機能を無効にすると、この仕組みを使ってボイス ストリームのモニタおよび記録を行うアプリケーションが機能しなくなります。音声のモニタが不要な場合は、このオプションを No(無効)に設定します。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。

表 4-2 [ネットワークノセッテイ] メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更方法
Voice VLAN Enabled	ボイス VLAN にアクセスするために PC ポートに接続されたデバイスを電話機で使用するかどうかを表示します。このオプションを No (無効) に設定すると、接続された PC でボイス VLAN のデータを送受信することができなくなります。また、電話機によって送信および受信されたデータを PC で受信することもできなくなります。電話機のトラフィックをモニタする必要があるアプリケーションが PC で稼動している場合は、この設定を Yes (有効) にします。モニタおよび記録用のアプリケーション、ネットワーク モニタリング ソフトウェアはこのようなアプリケーションの一種です。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
ジドウカイセンセン タクヲツカウ	電話機で、すべての回線における着信コールにコールのフォーカスが移るようにするかどうかを表示します。このオプションを No (無効) に設定すると、電話機では使用中の回線における着信コールにのみコールのフォーカスが移ります。このオプションを Yes に設定すると、電話機では最新の着信コールを受けた回線にコールのフォーカスが移ります。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
Video Capability Enabled	適切に準備された PC に接続されている場合に、電話機からビデオ コールに参加できるかどうかを表示します。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
ツウワセイギョノ DSCP	通話制御のシグナリングに使用される DSCP IP の分類を表示します。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
セッテイノ DSCP	電話機の設定を転送するために使用される DSCP IP の分類を表示します。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。

表 4-2 [ネットワークノセッテイ]メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更方法
サービスノ DSCP	電話機ベースのサービスに使用される DSCP IP の分類を表示します。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
デバイスセキュリティモード	電話機から Cisco CallManager への接続に使用されているセキュリティモードを表示します。「ニンショウズミ」は、TLC 接続を使用したデバイスとシグナリングの認証が行われていることを示します。「アンゼンデナイ」は、TCP 接続が安全でないことを示します。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
Web アクセスカノウ	電話機の内部 Web サーバが有効 (Yes) か無効 (No) かを表示します。無効になっている場合、電話機の Web ページにはアクセスできません。	変更するには、Cisco CallManager を使用します。
セツゾクモニタカンカク	フェールオーバー後、電話機が SRST から Cisco CallManager サーバにフォールバックする前に、電話機と Cisco CallManager サーバ間のリンクが安定していなければならない時間 (秒数)。	変更するには、Cisco CallManager Administration を使用します。

Cisco CallManager オプション

[ネットワークノセッテイ]メニューの CallManager 1 ~ CallManager 5 の各オプションには、電話機を登録できる Cisco CallManager サーバのホスト名または IP アドレスが、優先度の高い順に表示されます。また、Cisco CallManager の限定機能を提供できる SRST ルータが使用可能な場合には、その IP アドレスも表示されることがあります。

使用可能なサーバごとに、Cisco CallManager サーバの IP アドレスと次の状態のいずれかが表示されます。

- アクティブ：電話機が現在コール処理サービスを受けている Cisco CallManager サーバ。

- スタンバイ：現在のサーバがダウンした場合に、電話機が切り替える Cisco CallManager サーバ。
- ブランク：この Cisco CallManager サーバへの接続は現在ありません。

このオプションには、次の指定が1つ以上含まれる場合もあります。

- SRST：Survivable Remote Site Telephony (SRST) の指定を示しています。この指定は、Cisco CallManager の限定機能セットを提供できる SRST ルータを示しています。他のすべての Cisco CallManager サーバが到達不能になった場合に、このルータがコール処理の制御を行います。SRST の Cisco CallManager は、アクティブな状態であっても、常にサーバリストの最後に表示されます。



(注) SRST ルータへのフェールオーバー後、電話機は、その電話機を登録できる Cisco CallManager サーバへのリンクをモニタします。サーバがデフォルトで2分間使用可能になっている場合、電話機はルータからそのサーバにフォールバックします。このデフォルトの時間を変更するには、Cisco CallManager Administration の Connection Monitor Duration パラメータに別の値を指定します。詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

- TFTP の指定：設定ファイルに記述されている Cisco CallManager に電話機が登録できないため、代わりに TFTP サーバに登録されたことを示しています。
- 認証アイコン：次のように、盾のアイコンとして表示されます。Cisco CallManager への接続が認証されていることを示しています。認証の詳細については、『Cisco CallManager セキュリティガイド』を参照してください。



■ ネットワークノセッテイ メニューのオプション

- 暗号化アイコン : 次のように、鍵のアイコンとして表示されます。
Cisco CallManager への接続が認証および暗号化されていることを示しています。認証および暗号化の詳細については、『Cisco CallManager セキュリティガイド』を参照してください。



- 関連項目
- [ネットワークノセッテイ メニューの表示 \(P.4-2\)](#)
- [設定オプションのロックとロック解除 \(P.1-23\)](#)
- [ネットワークノセッテイ メニューの設定を編集する場合のガイドライン \(P.4-4\)](#)
- [ネットワークの設定オプションの概要 \(P.4-5\)](#)